

めぐニュース

かぐめよし少年自然の家だより 令和4年7月発行

先日、小倉北区の日明・海峡釣り公園に行った際、ふと海面を見ると???50~60cmの魚らしきが泳いでいる。よく見ると、何とハンマーヘッドシャーク（シュモクザメ）の子ども?である・・・。
温かい海を好むようで、かつて日明で見たことは無い。そこで、潜り漁をしている漁師に電話すると、「小さいのはいくらでもおるよ」・・・と。

磯は、ガンガセ（毒針を持つウニ）やアイゴ（こちらではバリと呼ぶ）の大量発生で、海藻が食い荒らされ、漁にも大きな影響があるとのこと。いわゆる磯焼け（海藻が絶え、生き物の食糧や住みかが無くなること）で、海藻を食べて成長している魚介類の成長、生息に大きな影響を及ぼしている。

一方、農業者に聞くと、水不足の中やっと田植えが終わったが、植える前の苗が成長しすぎ、穂が出てこれに十分な栄養が行きわたらないかもしれず、収穫に悪影響が考えられるとのこと。

さらに、今日（6月28日）史上最速で九州北部も梅雨明けしたと報道・・・。ニュースではお隣、苅田町の水がめである油木ダムも窮状も伝えられている・・・。

生きている鳥たちが 生きて飛び回る空を

あなたに残しておいてやれるだろうか 父さんは

生きている魚たちが 生きて泳ぎ回る川を

あなたに残しておいてやれるだろうか 父さんは

生きている君たちが 生きて走り回る土を

あなたに残しておいてやれるだろうか 父さんは

＝キャンプの際よく口ずさんでいた歌です＝

♪私の子どもたちへ

主催事業のお知らせ

8月～10月

	事業名	時期	対象者・人数
8月	水体感キャンプ（本番）	8月2日（火）～6日（金）	
9月	かぐめよし自然少年団③	9月3日（土）～ 9月4日（日）	かぐめよし自然少年団に所属する団員
	家族でキャンプだホイ！	9月24日（土）～ 9月25日（日）	中学生以下とその保護者 7家族
10月	第1回はじめての陶芸教室	10月1日（土）～ 10月2日（日）	小・中学生とその保護者20名
	第2回観天望気学習キャンプ	10月15日（土）～ 10月16日（日）	小学5・6年生20名
	秋の福智山登山	10月23日（日）	小・中学生とその保護者20名

※今後の新型コロナウイルス感染状況によっては、事業を縮小・中止することがございます。

※主催事業の募集は全て市政だよりに掲載します。応募は市政だよりをご覧ください。お申込み下さい。



主催事業報告



第1回ボランティア研修会

かぐめよしでいつも活躍していただいているボランティアサークル『やまめ』の皆さんと研修会を行いました！少年団を卒団した、[新メンバー] が加わり、賑やかな研修会となりました。『実際に体験して覚えること』をテーマに、野外調理において気を付けるべきことや、万が一の時の救急法など、2日間でみっちりと一緒に学ぶことが出来ました。よりパワーアップした『やまめ』と共に、入所するの皆さまのお越しをお待ちしております!!



第1回観天望気学習キャンプ

今年から始まった観天望気学習キャンプ。お天気博士になるべく、18名の小学5・6生が集まりました。

どうやって雲が出来るのかな？前線を作ってみよう！などの実験や、お天気かるたを通じて天気の勉強をしました。夜はソロテントでテント泊。2日目は野外調理と、充実した2日間を過ごしました。ここでの勉強、役に立っているかな？



第1回かぐめよし自然少年団

今年度の少年団は、新規団員12名が新たに加わり、昨年からの継続団員と合わせて計29名で活動を行います。最初の活動では、火おこしや野外調理、自分用のテントを立てて、そのテントで宿泊しました。新規団員は初めての事で大変だったと思うけど、先輩団員が積極的にサポートしているのを見て、とても頼もしく思いました。第6回の頃には、みんなで成長して、たくましい団員になってくれたらと思います。



かぐめふるさと交流



毎年恒例のかぐめふるさと交流を開催しました。

5家族 16 名がテントを張っての寝泊り、野外での食事作り、近くを流れている紫川最上流での川遊びに夜の散策、サイクリング、竹細工（カッポン作り）などの活動をしました。両日とも天候に恵まれ、「ふるさとかぐめよし」での自然体験活動に大人も子どもも目をキラキラさせていました。



食事用の器を竹を使って家族ごとに器を作りました。ほとんどの方が、家でも使うと喜んでお土産に持って帰りました。

かぐめバンブーキャンプ

親子で
助け合
って！



ジしました。竹炭ができるまでに、親子で協力し合って竹を切って、ソーメンの器を作ったり、竹にパン生地を巻き付け棒パンを焼いたりしました。

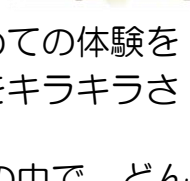
見事竹炭ができ上り、みなさん袋にたくさん入れてうれしそうに持って帰りました。

放置竹林の現状を見て、竹が生えていても自然が豊かではないことに気づいて驚いていました。竹の有効活用として、竹炭作りにチャレンジ



家族でキャンプ&アウトドアご飯

梅雨入りをして、天候の不安があった今年の「家族でキャンプ&アウトドアご飯」でしたが、2日間ともいい天気に恵まれ、6家族22名が、野外調理や虫釣り、テント泊を体験しました。初めての体験をする子供たちは、全てに興味津々。目をキラキラさせながら、活動を楽しんでいました。



かぐめよしの静かな夜、テントの中で、どんな夢を見ていたのかな？



※5月5日（木・祝）に予定していました「春の福智山登山」は参加者のキャンセルの為、中止しました。

頂吉図鑑 ～第28回～

萵苣の木（チシャノキ）



今回ご紹介するのは、萵苣の木（チシャノキ）です。この萵苣という漢字はなかなか読めませんね。チサ、チシャと読みます。チシャと言っても、なんのことだかわからない人も多いでしょう。実はチシャとはレタスのことです。だからレタスになる木ですよと冗談を言っても、最近あまり笑ってくれません。レタスがどのようになるのか知らない人が増えてきているようです。

名前の由来を調べると、葉がレタス【レタスがチシャと呼ばれるのはレタスを切ると白い液が出るので乳草（チチクサ）からチサ、チシャと転訛したとのこと。】の味がすると書いてあります。「本当かよ」と葉を齧てみましたが、私の味覚がおかしいのかレタスの味とほど遠い味です。ただ、くせはなく、葉をむしゃむしゃと抵抗なく食べられます。レタスのように生で食べられるというのが由来ではないかなと個人的には思います。この葉は、よく見ると細かい鋸歯（ギザギザ）がありますが、遠目に見ると柿の葉によく似ていて、カキノキダマシの別名もあります。秋に実もなり鳥がよく食べているので食べてみましたが、美味しいものではありませんでした。余談ですが、釣り好きの私にとっては、チシャというと魚のイシガキダイを真っ先に思い出します。チサノキと聞いて『伽羅先代萩』を思い浮かべた方は芝居通です。歌舞伎や浄瑠璃に出てくる、あのチサノキはエゴノキで全く別の木です。

所の中に大きな木があり、見慣れてくると川岸などにポツポツと生えているのに気づくようになりました。あるとき七重の滝付近でチシャノキがあるなと思って近づいてみると、樹皮がクヌギのように縦に深く裂け、コルク層が発達しており、チシャノキと印象がまるで違います。葉も心なしか丸く見えます。調べてみるとマルバチシャノキでした。

チシャノキは、最初なんの木だろうと調べていて、なかなか見分けにくかったのですが、今や遠くからも見分けられるようになりました。樹木についてまだまだ勉強中ですが、木の世界へ私の目を開かせてくれたきっかけとなった木です。皆さんの周りにも、「この木はなんの木？」ありませんか。



北九州市立かぐめよし少年自然の家

住所：〒803-0267

北九州市小倉南区大字頂吉451-1

電話：(093) 451-3111 FAX：(093) 451-3133

